別紙１

平成２８年度「測量の日」における功労者感謝状の贈呈について

国土地理院では、測量・地図に対する国民の一層の理解と関心を高めることを目的として、平成元年度から、測量・地図に関する普及・啓発に顕著な功績のあった団体又は個人に対し国土地理院長から感謝状を贈呈しています。

今年度は、以下の１個人・２団体の方々に感謝状の贈呈を行います。

（五十音順　敬称略）

（個　人）

◆岩井（いわい）　哲（さとし）（広島工業大学副学長、同大学工学部建築工学科教授）

平成21年度から地理空間情報産学官中国地区連携協議会の座長を努め、協議会の運営及び協議会を通した産学官間の情報共有、地理空間情報の活用促進に多大な貢献をされた。

また、地理情報システム学会中国支部の支部長を努め、その活動として小学生から大学生を対象に「ヒロシマ被爆体験を次世代に継承するための原爆痕跡地図作成GISワークショップ」を開催し、広島市内の被爆痕跡をデジタル地図に取りまとめる平和学習に継続的に取り組むとともに、「GISセミナー・中国」を開催し、最新の地理空間情報技術の普及啓発に努められた。

勤務する広島工業大学では長年にわたってGISを用いた都市耐震化対策や地震災害の調査・分析し、防災対策の推進に貢献したほか、地域住民の防災意識の向上を促した。

以上のように、氏は地図を利用した人材育成、防災・減災への地理空間情報の活用、地理空間情報技術の普及・啓発に多大な貢献をされている。

（団　体）

◆一般社団法人（いっぱんしゃだんほうじん）　沖縄県測量建設コンサルタンツ協会（おきなわけんそくりょうけんせつこんさるたんつきょうかい）（会長　池村　弘）

将来の測量技術者育成を目的に、高校生等を対象に測量実技講習会を開催し、測量技術者担い手確保に熱心に取り組んでいる。平成 22 年からは毎年、工業高校を中心に講習会を開催しており、最近では 3D レーザースキャナや UAV（ドローン）での 3 次元データ取得等、最新技術の積極的な導入を心がけ、若手技術者への測量教育に尽力している。

また、普及啓発活動を通して、県内の測量設計業界の社会的地位の向上と持続的発展に多大な貢献をされている。

◆ 日本放送協会（NHK）『ブラタモリ』制作スタッフ

NHK総合テレビで現在放映中の「ブラタモリ」は、人気芸能人のタモリ氏とNHKアナウンサーのコンビが様々な街を歩きながら、その土地に隠れ残っている自然・人文の痕跡を探索し、街の新たな魅力などを再発見していく番組である。

番組中では、普段は気に留めない街なかの「高低差」やひっそりとたたずむ路地などに注目し、様々な地図をわかりやすく使いつつ、地理・地学・地形といった視点も含めた街の魅力が紹介される。その際、国土地理院（及びその前身機関）が作成した旧版地形図や基盤地図情報等もしばしば使われ、視聴者が地図や地理に興味を持つきっかけとなっている。

地理学や地学に博識なタモリ氏による、良質のエンターテインメント番組として多くの視聴者に好評を得ていることから、この番組を通じて地図や地理に対する関心や親しみを広く得た功績は多大である。